

二つのガマを通して

古堅中学校三年五組

池原・怜那

あなたの前にAとBの二つの箱があります。周りの人達はBの箱を開けるべきだと言っています。あなたが、あなたはAの箱を開けるべきだと思っと思っています。もしこの状況になったら、あなたには周りに流されて箱を開けますか？それとも自分の意見を貫きますか？

なぜ私がこの質問をしたのかというと、この読谷村でいたような状況が起こったからです。何が起こったのか。それは今から七十三年前にある二つのガマで起きたことです。

一つ目はチビチリガマで起こったことです。沖繩戦が始まった四月一日米軍の上陸地に近かったチビチリガマはすぐに発見され、米兵は何もしなければ殺さないと言っ。てガマから出てこいと呼びかけたのですが、住民は竹やりを持って反撃に出ました。当然竹やりで銃に勝てるはずもなく、反撃をした住民は撃ち

殺されてしまいました。その光景をみて怯えた住民は自決しようと考えました。

「米兵は鬼畜兵。そんな人に殺されるよりは自ら命を絶て。」

そんな考えがあたりまえだった時代なのでこの考えはすぐにガマ中に広まりました。自決に反対する人はいませんでしたが、精神的、肉体的に追い詰められ、その後娘に殺してと頼まれた母親が娘を殺したのを境に自決をする人が続出し、結果全体の六十パーセント以上

上の人ガ死んでしまいました。

二つ目のガマであるシムクガマにも米兵はやってきました。チビチリガマと同じように米兵は呼びかけました。ガマは住民達は自決するべきという考えが強まりました。しかしこのガマにも自決に反対する人達がいきました。その人達はハワイにいた経験があり、米兵と話をつけると住民達に自決をするのはまだ早いと説得し誰一人命をおとすことなく、ガマから全員が脱出することができました。

チビチリガマとシムクガマ似たような状況
なのになぜ二つも結果が違うのか。それは経
験している人がいなかっただのもそうだが
自分の意見をしっかりと述べていなかっただか
らだと私は思います。たしかに国のために死ね
という考えの中へ自決をしないでガマから出
ようという考えはできてきてもすぐに消されて
しまうかもしれませんが、さすがシムクガマの
人達は住民に何を言われても自分の意見を貫
き通しました。その結果シムクガマの人々は一
全員脱出できたのですから、もしチビチリガ
マで反対意見を述べていた人が自分の考えを
貫き通していたら、結果は変わっていたのか
もしれません。

今この時代は、選挙などの多数決で決まる
ような社会です。少数派はどうやっても票で
勝てなければ、結果は覆らないような社会で
す。この二つのガマの話を通して本当に二人
な社会でいいのでしょいか。少数派の意見を
完全に潰して少数派の人々だけが不満を持つ

そのような世界は本当に平和なのでしょうか。
シムクガマで反対意見を貫き通そうとしてい
る人に感心を向けるべきだと私は思いました。
そして、戦争がなければチビチリガマのよう
な悲劇は起きなかつたと思います。

少数派の意見にもスポットをあてる。そん
な世界をつくっていったらいいです。